

「人は 自分が思うように生きている」

人生のすべては、自分の思い、ことば、行ない、が作りあげていくということです。自分が今、手にしている環境（家族、仕事、人間関係）は、自分が望んだとおりになっています。

すべては「自己責任」と心にしっかり定めていく、人生を楽しいものにするのも、タメ息と愚痴にしていくなのも、「思い方、受け止め方」しだい、それは紙一重ではなかろうかと思えます。

暑い中、汗をかきながら帰ってきた。喉はカラカラ、家人が水を出してくれた。コップには半分の水。さあ、その瞬間自分のころはどう受け止めるか？

「ありがたいなあ、いただきます」

「なんだ、半分しか入ってないじゃないか、ちえっ」

コップの水には何の意図もありません。ただ、そこにあるだけです。それを「自分のころ」がありがたいと思うのか、なんだ、これっぽっちと思うのか。これが紙一重ということです。

ころが喜ぶ思い方、受け止め方は、どちらでしょうか？

「何も思わずにごっくと飲み干す」という選択もありますが、出してくれた人を幸せな気持ちにしてあげられるのはどちらでしょうか。

「他者の幸せを祈る」

「私が、目の前にいる人に、何をしてあげられるだろうか」「家族、友人、みんなが幸せでありますように」「世界が平和でありますように」といつも思いながら行動できる人を「大我の人」といいます。自分も楽しく、人にも喜ばれる。それが大我。人には冷たく、無関心、自分が得することばかり考えている人を「小我の人」といいます。